いしかわ労福協

第 540 号　2013年1月25日

発行所　石川県労働者福祉協議会
発行責任者　狩山　久弥
編集人　上野　貞彦
〒920-0024　金沢市西念3丁目3番5号
電話（076）231-1737
FAX（076）231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行
定価　一部　20円

白　山　　©石川県観光連盟

謹賀新年

㈳石川県労働者福祉協議会
理事長　狩山　久弥

新年あけましておめでとうございます。2013年が皆様にとって明るく実りの多い年となるようお祈り申し上げます。

昨年中は各自治体や、労働団体、事業団体をはじめ、関係各位の皆様にご支援・ご協力を頂きました、心から御礼申し上げます。

石川労福協はこの一年、ライフ・サポートセンターが中心となり、「暮らしの総合サポートセンター」として、「子育て支援事業」「福祉なんでも相談」「無料職業紹介事業」を中心に働く者の生活と福祉の向上をめざし、活動を展開してきました。

しかし、働く者の雇用と生活は危機的な状況が続いています。デフレ経済からの脱却ができない中で、格差社会は深刻化し、ワーキングプアとよばれる年収200万円以下の者は1,100万人を超え、生活保護受給者は221万人を突破し、過去最悪となっています。

また、1世帯あたりの平均所得も1994年よりも126万円減少し、厳しさが増加しています。

今こそ、労福協をはじめ労働者福祉団体が培ってきた共助の輪が必要です。「連帯と相互の支え合いという協力原理が活かされる社会、ぬくもりある思いやりの社会、人とくらし・環境に優しい福祉社会」の実現のため、関係各位の皆様のご理解とご協力をお願いし、新年の挨拶とします。

石川労福協・連合石川 2013 新春の集い

2013 新春の集いは、石川労福協と連合石川が合同して1月7日(月)金沢都ホテルにおいて、労働者福祉事業団体、地域ライフ・サポートセンター、連合構成組織に加え、谷本正憲石川県知事らの自治体首長や国会議員などの来賓など 250 名が参加して開催された。

狩山久弥
労福協理事長

狩山久弥労福協理事長(連合石川会長)は「昨年末の第46回衆議院選挙は、民主党の壊滅的敗北となり、今後、国民の信頼を回復するべく行動することを切望する。連合は、政権の枠組みに係わりなく『働くことを軸とする安心社会』の実現を目指し運動を進めなければならない。また、今後も労働法制の整備に向けて、連合の組織パワーと運動への求心力を発揮し取り組む。また、2013春季生活闘争は、経済成長に応じた分配の歪みこそが、日本社会全体の成長の足を引っ張ったとの認識の下、『痛んだ雇用と労働条件』の復元に向け、『“賃金カーブ維持分”+“賃金引上げ分として1%”』の要求をもって、大手と地場等との格差是正に取り組む。さらに、連合運動の社会的波及力を強める上で、集団的労使関係の輪をひろげていくことは不可欠である。労働組合基礎調査では、過去最低となる労働組合推定組織率 17.9% を極めて残念な状況と受け止め組織化の拡大に取り組む。さらに、労働運動の社会化と労働者福祉運動の強化として、昨年の国際協同組合年の取組みを活かし、『共助』による公益性の高い社会運動を展開するためにも、全ての働く者と退職者・高齢者との連携を図り、勤労者・県民の生活防衛・維持・向上はもとより、労働者自主福祉活動の充実、生涯福祉の向上を目指し、石川労福協を構成する各事業団体と共に『暮らしの総合サポートセンター』として地域社会に貢献することを目指す。そして、今年の干支『蛇』に因み、脱皮するが如く新しい形を創るため、果敢に挑戦していく。引き続き変わらぬ皆様のご協力をお願いする。」と開会挨拶をした。

谷本正憲石川県知事

また、石川県知事が「労働運動の社会化と子育て支援事業等社会に貢献できる事業の継続発展を期待し、応援したい。」としたほか、磯部隆文石川労働局長が「景気弱含みの傾向で楽観視できないが、有効求人倍率は前年比で回復傾向にある。4月1日に引き上げられる障害者雇用率の確保に向けて努力していきたい。」、山野之義金沢市長(県市長会会長)が「能力・意欲のある女性の登用など働きやすい環境の創出と障害者雇用の具現化に努めていきたい。」と共に労働者を含めた県民市民の生活向上のための努力をするべく挨拶があった。

山野之義金沢市長

磯部隆文石川労働局長

一川保夫
民主党石川県連代表

盛本芳久
社民党県連代表

石坂修一
県政石川議員会会長

このほか、来賓の政党代表者、連合石川法曹団を代表して北尾強也弁護士が祝辞を述べた後、選挙を間近に控えた地方議員が決意表明した。

挨拶やスピーチの合間には、ジャズカルテット「M4」によるジャズの調べが会場を賑わすなか、新春の集いが進行し、最後に天満信夫連合石川副会長（労福協理事）が「狩山会長が述べた課題等に果敢に取り組んでいくためにも、全体の協力をいただきたい。」と挨拶し、引き続き、狩山理事長の音頭で“働く者の期待に応えるために団結ガンバロウ”を三唱し、2013年がスタートした。

北尾強也弁護士

天満信夫
連合石川副会長

軽快な音楽を奏でるジャズカルテット「M4」

2013年ガンバロウ

労福協第５回理事会

12月21日（金）金沢スカイホテルにて、理事監事14名が出席して開催された。

津幡町の県森林公園において実施した婚活支援事業の「ウォークラリー＆森林浴　ランチパーティ」や労働者福祉の向上などに尽力され故人となられた大衆運動活動家を顕彰する合祀・感謝の集いなどの活動報告のほか、第36回研究集会の開催、新公益法人移行に伴う関連議題について審議した。

1月17日（木）県女性センターで第36回研究集会を開催するほか、新公益法人への移行に際し導入が必要となる会計処理システムの構築や移行に先立ち開催する臨時総会日程などが提案され、承認された。

新公益法人への移行は、9月に申請済であるが、事前審査や調整を要したものの、近々に公益認定等審議委員会にて審議される見通しで、本年度の重要課題が予定どおり進められることが報告された。

これからの行事予定

（1月25日現在）

開催日	曜日	行　事	会　場
1月22日	火	食みどり水　幹事会	フレンドパーク石川
23日	水	食みどり水　協力団体連絡会	同上
24日	木	第43回早春書画・生花展	ラブロ片町
27日	日	第43回早春書画・生花展　表彰式・合評	同上
2月8日	金	食みどり水　第7回定期総会	フレンドパーク石川
12日	火	消団連　幹事会	同上
14日	木	石川県バリアフリー社会推進賞表彰式	石川県庁
27日	水	第6回理事会	フレンドパーク石川
3月6日	水	中部会館協　第3回幹事会（～7日）	福井県
12日	火	中央労福協　第3回地方労福協会議（～13日）	福島県
4月11日	木	地方労福協事務担当者研修会（～12日）	東京近郊
〃	〃	全国会館協　第2回幹事会（～12日）	神奈川県

石川県知事
谷本　正憲

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては新春をご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進に深いご理解とご協力を賜っておりますことに、本紙面をお借りして心から感謝申し上げます。

昨年は、本県の希望の象徴である北陸新幹線が、昭和48年の整備計画決定から約40年の歳月を経て、金沢・敦賀間の延伸が認可・着工され、金沢開業後10年余りで県内全区間を新幹線が走ることになるという、念願が叶った年でありました。これまでの皆様方のご尽力に心から感謝を申し上げます。今後とも、敦賀までの一日も早い完成、大阪までのフル規格による早期全線整備に向けて、関西圏を含めた沿線地域との連携を密にし、取り組んでまいります。

そして、金沢開業がいよいよあと2年余りと迫りました。開業効果を最大限に引き出し、県内全域に波及させるため、首都圏での効果的・戦略的な情報発信を進めるなど、開業に向けた準備を加速させてまいります。

さて、本県の経済・雇用情勢は依然として先行きが不透明な状況であり、引き続き、経済状況をしっかりと注視していく必要があると考えております。

こうした中、県では、関係機関と連携して、景気の持ち直しを後押しすべく、経済・雇用対策を強力に推進してきたところであり、きめ細かくセーフティネットを張り巡らせる施策に全力を挙げて取り組んでまいりました。

今後とも、経済・雇用情勢を注視し、時期を逸することなく必要な対策を講じるとともに、雇用・労働問題の解決や労働条件等の改善についても、関係機関と連携を図りながら、積極的に取り組んでまいります。

貴協議会におかれましては、今年が設立50周年の節目を迎えられるとお聞きしています。昭和38年の設立以来、雇用、福祉、教育など幅広い分野での活動に取り組まれるとともに、近年は、子育て支援ネットワークにより「仕事と育児の両立」の支援にも積極的に取り組んでおられ、本県の労働者福祉の向上にご尽力いただき感謝申し上げる次第であります。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

石川県市長会
会　長　山野　之義
（金沢市長）

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様方には、常日頃から県内各市政の推進に多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、経済情勢は、世界景気の減速等を背景に、全体としては動きが弱く、欧州や中国等、対外経済環境を巡る問題により、景気の先行きはますます不透明な状況が続き、雇用情勢も一部回復傾向がみられたものの、依然として厳しい状況が続いた一年でありました。

こうした中、私ども各自治体といたしましても、景気・雇用対策を最優先とし、緊急雇用創出事業や各種雇用奨励金により新たな雇用を確保するなど、様々な施策に取り組んでいるところでありますが、今後とも、引き続き市民生活の安定に最善の努力を尽くしてまいる所存であります。

金沢市においては、2015年春の北陸新幹線の金沢開業を控え、歴史や伝統、学術、文化を保存・継承するとともに、そこに新たに刺激を与え、人・モノ・情報が集まる世界の「交流拠点都市」の実現をめざしてまいります。さらに、その波及効果が石川県全体に行き渡るよう、オール石川で新幹線金沢開業に向け取り組んでまいる所存であります。

石川県市長会といたしましても、地方分権時代にふさわしい自立度が高く個性豊かで活力に満ちた市政をめざし、市民生活の安全・安心の確保のための災害に強いまちづくりや地域経済の活性化などの課題に、一生懸命に取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりましたが、皆様方のご多幸を祈念いたしますとともに、本年も格段のお力添えをいただきますようお願い申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

白山雪だるま祭　©石川県観光連盟

石川県町長会
会　長　杉本　栄蔵
（中能登町長）

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、輝かしい平成25年の新年を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年も、県内各町の振興発展と住民福祉の向上に決意新たに取り組みますので、力強いご支援とご協力をお願いいたします。

さて、国の政権交代から半月。新政権には、喫緊の課題として、景気浮揚・雇用対策、デフレ・円高対応、復興推進、社会保障改革、原発／エネルギー政策、国家安全保障、TPP（環太平洋経済連携協定）問題等の大波が数多く待ち受けています。

私たちとしては、これら課題の速やかな解決を期待するところでございますが、振り返ってわれわれ地域社会においては、雇用の安定や地域産業の活性化等、地域振興と住民福祉の向上に、これまで同様、地に足のついた施策が求められているものであり、それぞれが独自性を発揮しつつも、地道な創意工夫をもって、日々の行政運営に邁進すべきと考えております。

また、そのためには、地域の企業や住民の方々との連携とご支援・ご協力が極めて重要と考えます。

石川労福協並びに関係各位におかれましても、自立する地域行政のため、安全で安心して暮らせる地域づくりのため、今後ともより一層のご配位を切にお願いするものでございます。

結びに、本年が皆様方にとって健康で幸多い一年でありますよう心よりお祈りいたしまして、年頭のご挨拶といたします。

労働者福祉中央協議会
会　長　古賀　伸明

新年明けましておめでとうございます。

昨年は国際協同組合年の取り組みを通じて、協同組合の社会的価値や労働組合との連携強化を訴えるとともに、共助を必要とする人たちが共助の仕組みに参加できるようにしていくことを問題提起してきました。今年はさらに一歩踏み出し、具体的な形にし、行動に移していく年です。

政治は新自由主義・「弱肉強食」社会への回帰も懸念される状況ですが、社会の不安定化が許容限度を超え、持続性そのものが問われる中で、これ以上の貧困・格差の拡大、生活や労働の破壊を許すわけにはいきません。社会的包摂政策や「生活支援戦略」を後退させず、寄り添い型の生活就労支援体系を整備していくことが必要です。

市場経済だけでは解決できない諸課題を克服し持続可能な社会とするため、労働組合や協同組合の役割と責任は高まっています。国際協同組合年の取り組みを契機として「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」に向けてともに前進しましょう！

２０１３年　迎　春

石川県労働者福祉協議会
理事長　狩山　久弥
役職員一同

金沢城公園　　©石川県観光連盟

北陸労働金庫
石川県本部長　嶋垣　利春

明けましておめでとうございます。昨年は、会員、協力団体をはじめ皆様方には労金運動の推進に格別のご尽力を賜り心から厚く感謝とお礼を申し上げます。

本年は「巳」「ミ」年にあたります。巳年生まれの人は、心が広く実行力と忍耐力があり品位は高尚、温和な天性で、どんなことがあってもやり通すという強い信念、たいていのことは成功するという恵まれた天運を持ち合わす方が多いようです。

さて、私たち働く者を取巻く環境は、政治も経済も、そして社会全体が非常に不安定、将来に対する展望がなかなか見出せない状況であります。このような中、私共、労働金庫は働く者の経済的地位の向上という原点をしっかり見据え、本年も、これまで以上に勤労者の生活応援、福祉金融機関としての社会的使命と役割を果すため役職員一丸となって努力に努力を重ねていく所存でございます。

更に、北陸労働金庫(石川)といたしまして、一昨年から「ろうきん」とは、「誰が何のために」創ったのか、「一般銀行とどう違うのか」など労金運動の原点を訴える活動を、連合石川をはじめ多くの会員皆様のご理解とご協力をいただき、実施してまいりました。引き続き本年も訴え続けてまいりたいと思います。

もう一点は、大きな課題として次世代システムの移行について現在、各会員皆様に移行方針をご提案し具体的手続きについてお願いいたしており、このシステム移行についてもご理解とご協力をいただきますよう心から重ねてお願いを申し上げます。

最後に、会員、協力団体皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

全労済石川県本部
本部長　中村　栄一

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は全労済石川ならびに石川共済の事業推進に多大なご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げ、御礼申し上げます。

全労済は、「2012国際協同組合年」を契機として、更なる協同組合間の連携強化と社会的役割について情報発信していくと共に、協同組合の意義や果たす役割などの流布活動にも力を入れてまいりました。

未曾有の災害となった「東日本大震災」は発生から1年10ヶ月が経過しましたが、被災された方々の苦しみは現在も続いており、全労済は被災者対策を最優先課題として位置づけ、全役職員の総力を挙げて取り組みを進めてまいりました。

「最後のお一人、最後の一件」まで対応を継続してまいります。

又、今後想定される超大規模災害の発生に備えた事業継続マネジメント、災害対策業務等の総合的な検証を行うと共に、会員自らの減災・防災意識高揚のために、「住まいと暮らしの防災・保障点検運動」も全国的に展開してきております。

是非、この機会に総合的な保障内容の点検・見直しをしていただきたいと思います。

全労済は『みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり』の理念に基づき、組合員・協力団体や地域社会の皆さまとの絆を大切にしながら、安心と信頼を提供し続け、社会的責任と役割を果たしてまいります。

本年が皆さま方にとりまして、ご健勝でご活躍の年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

柴山潟からみた白山　　©石川県観光連盟

㈶石川県労働者信用基金協会
理事長　坂本　哲治

新年明けましておめでとうございます。

新たな年を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、石川県労働者信用基金協会(石川労信協)に対しまして深いご理解と心温まるご支援・ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

お陰さまで、厳しい社会情勢・経済環境の中ではありますが、新規保証実行および保証債務残高の減少にもかかわらず、北陸ろうきんの系統保証機関として「労働者の生活支援」の一翼を担うという事業目的達成に向けた事業推進を行っています。

昨年一年間は、公益法人制度改革三法施行への対応として、一般財団法人への移行申請に一定のエネルギーを費やしてきました。

当協会は、民法旧34条の公益法人の設立規程を根拠として、1968年(昭和43年)7月1日に石川県、県下各自治体、労働団体、労働者福祉事業団体の出捐金によって設立され、本年7月には45周年を迎えることとなります。

2008年(平成20年)の公益法人制度改革三法の施行を受け石川労信協は、4年間の議論の結果、第44回定期評議会で「一般財団法人(非営利型)への移行」を決定しました。

移行申請にあたっての定款の改正など諸準備を整え、主務官庁である石川県に対して移行申請を提出し、公益認定等審議会で「公益目的支出計画の作成不要」との条件で一般財団法人に移行することが決定され、本年4月1日に法務局に一般財団法人の設立に間に合うよう諸準備を整えることが出来ました。

新たな法人制度の下で再スタートとなる石川労信協は、「労働者の生活支援」の一翼を担うと言う北陸労働金庫の優良保証機関として、その事業推進にいっそう邁進するために、①安定経営、②収支の安定、③効率的経営、④基本財産の造成、⑤リスク管理、⑥コンプライアンス経営、⑦ガバナンス経営－－などに努めてまいる所存です。

今後ともいっそうのご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

石川県生活協同組合連合会
会長理事　横山　和男

年頭のご挨拶を申し上げます。

旧年中は労福協はじめ各事業団体、自治体の皆様にはご厚情を賜り、心から御礼申し上げます。

昨年は国連が定めた国際協同組合年にあたり、石川県JA中央会、県生協連、県中小企業団体中央会、県漁業協同組合、県森林組合連合会、北陸労働金庫の6つの組織が連帯して石川県記念大会を開催し、協同組合組織を広く県民にアピールすることができました。

本年はポストIYC（国際協同組合年）の取り組みとして、協同組合間協同を進め、地域社会における協同組合の役割と存在意義について、認知度向上の取り組みを進めていきます。

東日本大震災の支援活動は、長期にわたり継続的な取り組みが必要です。組合員・消費者の暮らし全般に貢献する生協として、被災地に寄り添った取り組みを継続して進めていきたいと思います。

また東京電力福島第一原子力発電所の事故は、いまだに私たちの生活環境や食品の安全にも影響を及ぼし、私たちの暮らしのあり方そのものを問い直す契機ともなっています。家庭の節電の取り組みとともに、再生可能エネルギーの利用や発電の取り組みなどエネルギー政策の転換を目指す必要があります。安心して暮らせる持続可能な社会の創造に向けて知恵と力を寄せ合わせていきましょう。

生協連は県内連帯の強化と交流を強め、消費者組織として社会的役割を発揮するとともに、本年も地域の信頼と期待に応えうる運営に努めてまいりたいと思います。何卒、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

財団法人 石川県労働者信用基金協会
金沢市西念３丁目３番５号
TEL（076）261－4347

恭賀新年

CO-OP 石川県生活協同組合連合会
金沢市古府２丁目１８９番
コープいしかわ古府センター2F
TEL（076）259－5962

石川県勤労者体育協会
会　長　高　　芳晴

新年あけましておめでとうございます。

自治体をはじめ競技団体、企業、労働団体、勤体協役員の皆様方には、事業の推進に温かいご支援ご協力を賜わり、心から感謝を申し上げます。

昨年は、依然として政治の混迷や景気先行き不透明な状況が続く中にあって、ロンドン五輪における日本選手の活躍、特に松本薫選手の金メダル第１号獲得は、その「野生児」と評される闘志むき出しのスタイルで、私達に感動と夢と勇気を与えてくれた年とも言えます。

いつの時代にあっても、人々はスポーツを観ることや自らがスポーツをやることで元気になりますし、多くの人達と心の交流やふれあいを深めていくことになります。スポーツで培った豊かな活力ある心身は、私達の地域社会の生活に不可欠であり、かつ高齢化社会に重要な役割を担っていると考えます。

これからも、職域や地域にスポーツの普及を図り、誰でも気軽に楽しく参加出来る各種大会を開催してまいります。また、各地域ライフ・サポートセンタースポレク部会とも連携して、共に生涯スポーツの育成・普及を図ってまいります。

結びになりましたが、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

石川県勤労者文化協会
会　長　大樋 長左衛門

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には御清祥にてお過ごしの事とお喜び申し上げます。

労働者福祉協議会をはじめとする各事業団体の皆さまには、勤労者文化協会に対する日頃の御厚情に、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

勤文協の目玉の事業であり、また、ものづくり初心者の登竜門と言われている「石川県勤労者美術展」は 62 回を重ね、この間、多くの芸術家を生みだし、石川県内における芸術・文化の裾野を広げる役割を担ってきました。

加えて今回は、長年の懸案であった会場を「金沢 21 世紀美術館」として開催する運びとなり、作品の出展数や来場者は大幅に増え、成功裏に終えることができました。

勤文協は、生涯福祉の向上をめざした労福協の事業の一環として、地域貢献を意識しつつ、これからも展示会を中心とした芸術・文化の向上に奮闘する所存です。

最後に、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

第43回石川県勤労者
早春書画・生花展

と　き　平成２５年1月24日㈭～1月27日㈰
午前10時～午後６時（最終日午後1時まで）

ところ　**アートシアターいしかわ**
ラブロ片町７Ｆギャラリー Ｉ
金沢市片町２丁目２番５号

◇主　　催　石川県勤労者文化協会
◇後　　援　北國新聞社、石川県労働者福祉協議会
◇作品搬入　書画の部
・１月 19 日㈯～ 20 日㈰
午前 10 時～午後４時
・ラブロ片町アートシアター 7F 会議室
◇問合わせ　TEL（076）231－1746
FAX（076）231－1731
金沢市西念３丁目３番５号
（フレンドパーク石川 3F）

ＮＰＯ法人
いしかわ介護ボランティアセンター
代表理事　澤　信俊

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、この国はどこへ向かうのでしょうか。

国や地方の財政が逼迫した時、常套句として「負担の公平化」という言葉が使われます。2004年に年金受給者への課税強化と個人住民税の均等割の一部引き上げが決まって、今年は10年目になります。この間、年金額300万円の65歳以上の夫婦世帯では、当時８千円の所得税が約8.8倍の７万円になり、さらに2006年度から課税強化された住民税分を合わせると９万４千円に負担が増えたことになります。しかも、2014年４月から消費税8%、翌15年10月から10%に消費税率が引上げられ、個人への負担の増加傾向は青天井になってしまいました。

日本人の特性の一つに寛容性がありますが、言われるがまま、なされるがまま、お任せにすることとは異なり、他者への思いやりを持つということです。寛容であることにとってもっとも困ることは、人々が無関心でいることです。

今年は、とくに労働者福祉問題に関心を持って取り組まなければならない一年になります。

NPO法人
いしかわ介護ボランティアセンター
さわやかU（愛称）
金沢市西念１丁目12番22号（労済会館２F）
電話（076）222－3337

日本労働組合総連合会石川県連合会
会　長　狩山　久弥

新年あけましておめでとうございます。

ご家族お揃いで清々しい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年末に行われた第46回衆議院議員選挙は、３年余り続いた民主党政権に対して厳しい審判がくだる結果となりました。

連合は、働く者の代表として、新政権に対しても、広く国民の声を受け止め、与野党間での真摯な論議をもとに必要な政策を進めていくことを強く求めていきます。

また、連合は、労働運動の一層の社会化を目指します。格差、貧困、社会の不条理に敢然と立ち向かう社会運動の核となる覚悟です。

そして、労福協・労働金庫・全労済等と培ってきた共助の輪に、非正規労働者、長期失業者など最も共助を必要としている人々が参加できるよう具体的取り組みを進めていかねばなりません。すべての働く者、働くことを望む人々をつなぎ、共に行動を起こし、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け邁進します。

石川労福協をはじめ、各事業団体の益々のご発展を祈念するとともに、連合石川に対する変わらぬご支援とご協力をお願いし、新年のご挨拶とします。

連合石川 非正規労働ホットライン
相談ダイヤル実施日：2/7(木)～9(土) 10：00～19：00
フリーダイヤル　いこうよ　レンゴーに
0120-154-052

本年も、私ども各地域ライフ・サポートセンターにご支援ご協力いただきますようお願いします。

珠洲・能登地域ＬＳＣ　会長　宮藤　祐健
輪島・穴水地域ＬＳＣ　会長　上野　正剛
七尾・鹿島地域ＬＳＣ　会長　野田　昭一
羽咋地域ＬＳＣ　会長　山田　吉博
河北地域ＬＳＣ　会長　釜井　誠次
金沢地域ＬＳＣ　会長　綿　征一
〃東北ブロック運営委員会　委員長　福田　佳央
〃南ブロック運営委員会　委員長　柚木　稔
〃西ブロック運営委員会　委員長　酒井　一恭
白山・野々市地域ＬＳＣ　会長　油　省三
小松・能美地域ＬＳＣ　会長　庭田　茂男
〃能美ブロック運営委員会　委員長　冨田　航
〃小松ブロック運営委員会　委員長　森林　清
加賀地域ＬＳＣ　会長　山本　哲朗

勤労者互助会

勤労者互助会抽選会

石川県勤労者互助会は、12月22日(土)午前9時30分より、金沢市高柳町ユナイテッド・シネマ金沢において、会員交流「映画鑑賞会」が開催された。

この会員交流会は一昨年から実施され、会員対象に石川県内の全域から参加を呼びかけた。

上映作品はティム・バートン監督のディズニー作品「フランケンウィニー」を選定し、会員から多くの申込が寄せられ、抽選で鑑賞者を選んだ。

当日は、天候が心配されたものの、267名が迫力ある人気作品を楽しんだ。

上映終了後、おたのしみ抽選会も実施され、みかん箱(5kg)が10名の当選者へ贈られ、盛会に終了した。

互助会事務局長　谷内　英明

河北ＬＳＣ

12月24日(祝)クリスマスイブの日に、青木クッキングスクールの加藤先生を講師に迎え、「第7回クリスマスケーキ作り」をかほく市宇気公民館で開催した。

今年は参加費を1家族1,800円に値上げしたことで参加希望者が減少するのでは無いかと心配したが、例年どおりの申し込みとなった。

当日は雪が降り始める生憎の天候にもかかわらず、22家族(大人27人、子供39人)が集まった。

最初は加藤先生の実演があり、それを見て各家族が1台のデコレーションケーキ作りに取り組んだ。

参加者には自前の電動ミキサーを持参した方も多く、青木クッキングスクールが用意したものと合わせて、順調にケーキ作りが進行し、1時間ほどで自信作を完成させた。

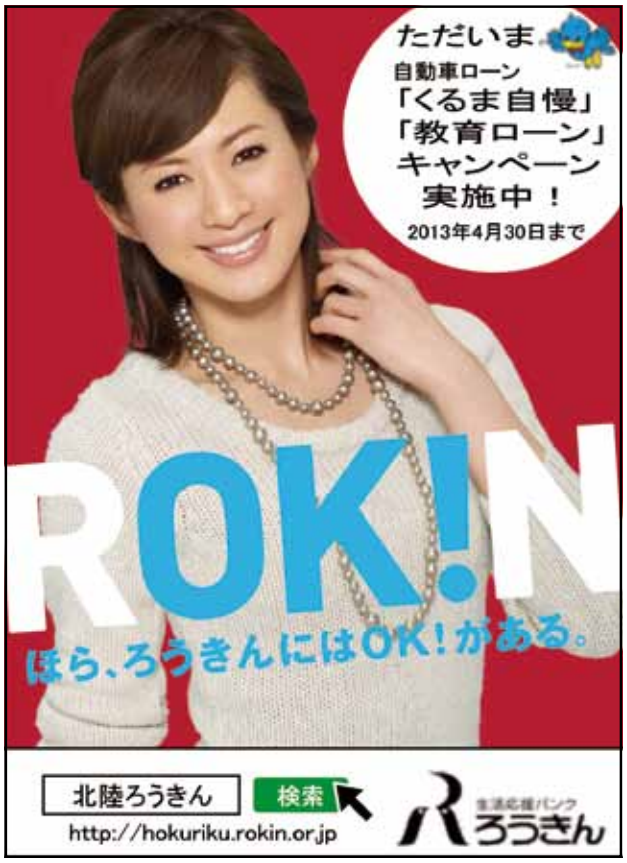
昨年と同様に、加藤先生が実演で作ったクリスマスケーキは、参加者全員でのビンゴゲームに当たった運の良い人にクリスマスプレゼントとして贈られた。

今年初めて、参加者数家族と加藤先生が記念撮影をしており、クリスマスケーキ作り(加藤先生)の人気の高さが感じられる光景であった。

後日、ライフサポートセンターに電話があり、ケーキ作りのレシピを会場に忘れたので、予備のレシピが無いか問い合わせがあった。理由を聞いたところ、あまりにも美味しいので手元にレシピを置いておきたいとのことでした。

早速、青木クッキングスクールからレシピを入手して、レシピを送ることとした。

河北地域LSC事務局　吉川　武久



※この機関紙は再生紙を使用しています。